

桑名市議会議長
辻内裕也様

第4班 班長
佐藤 肇

議会報告会実施結果報告書

開催日時	令和4年 6月 2日 (木) 18時30分 ~ 20時00分			
開催場所	多度まちづくり拠点施設			
出席議員	班長	佐藤 肇		
	司会	愛敬 重之	記録者 水谷 真幸	
	水谷 憲治		太田 誠	伊藤 恵一
参加人数	18 人			
議会報告の概要	<ul style="list-style-type: none">・開会挨拶・各議員紹介・市議会だより（2022年（令和4年）6月1日号）の説明 議会での審議内容について・質疑応答			
主な意見・要望	意見交換については、別紙参照			
備考				

議会報告会記録

【第4班】

開催日時	令和 4年 6月 2日 (木) 18時 30分 ~ 20時 00分
開催場所	多度まちづくり拠点施設
参加人数	18人
参加者からの意見・要望等	<p>(○参加者、→議員、各個人の意見を要約)</p> <p>【議会だよりについて】</p> <p>○桑名駅について、エスカレーターが東口にないのになぜオープンしたのか。市の職員も今後作ります、ごめんなさいということで信じられない。また自由通路にトイレがないので、作ってほしいという声をよく聞く。なぜできないのか。</p> <p>→桑名駅については、エレベーターは設置されているので、現段階ではエレベーターを利用してほしいと思う。エスカレーターについては、東口にペDESTリアンデッキを作るときに設置すると聞いている。トイレについてはバスの乗り場のところにあるということでご理解いただきたい。</p> <p>【公共交通について】</p> <p>○多度から木曾三川公園に渡る橋の下の東、特に北の輪中地帯について、住民の方が6歳の時に伊勢湾台風で被災した時、逃げ場がなかったということを知っているし、6歳ながらも忘れられない状況を体験したと聞いた。その中で、長島町の三川の大きな橋のところは、道路の端の歩道の方に避難するようになっているのか。避難場所については多度西地区の方は学校に近いし、避難場所があるけれども、東の方は逃げ場所の一つとして長島町と同じようにできないのか。どういう方針があるのか。</p> <p>→避難道路について、長島の堤防道路と国道23号がクロスする部分がある。通常車は下に行くが、国交省にお願いして、万が一緊急で避難などするために、ガードレールを取っ払って、堤防の道路から国道23号の道路に入るような坂が作ってある。東名阪道についても一部そうになっている。その他に東名阪道の途中の下に側道があるが、側道から一部避難階段を作っている。油島大橋についてもそのような設備がほしいというところだと思うが、そのような要望があったことを当局に伝えさせていただきたいと思う。</p>

○伊勢大橋の架け替えについて、4車線化する事業であると認識している。そのような中、拡幅する用地買収がここ10年以上も進んでいないように感じられる。4車線化については、交通の面だけでなく、防災の面でも重要だと思っている。東海地域はゼロメートル地帯が多いということで、十数年ほど前から東海ネーデルラントということで広域避難が議論されている。名古屋の西部から桑名市西部の丘陵地に避難することも検討されているというふうに聞いている。その際問題になるのが長島の方がどこに避難するかということ。2本高速道路はあるが、緊急時には通行止めされてしまう。2本の一般道は、長島よりも東の方が避難してきて、長島の人が道路に乗れないのではないかと懸念する。

→東部拡幅について、昭和50年台から予定がされて、長い間凍結されてきた。令和5年度からは橋桁を作っていくと国交省の方から聞いている。この橋が完成すると、今の伊勢大橋を落として、そこに橋をかけるという計画である。それらを完成させた後に東部拡幅の用地買収を進めていくと聞いている。4車線になるということは間違いはないが、遅れてきている。市の方も中部地方整備局や国土交通省にも毎年、自治会の方と総出で陳情活動を行なっている。台風などは事前避難ができるが、どこに避難するんだということもあるが、極力事前避難をするべきであると考えている。

○多度川には、土橋という香取の市街地と多度川を挟んだ農地を結ぶ非常に歴史がある潜水橋、もぐり橋があった。この3月に老朽化ということで撤去された。非常に悲しい思いがした。桑名市長は桑名の本物力といっているが、これが本物力、この地域の宝物であると思っていた。これについて、予算の審議において議論されなかったのは残念であり、議論してほしかった。

○スクールゾーンについて、多度町も朝夕、通勤の車の抜け道になっている。交通規制できないのか。通学時間帯、進入禁止というところもあるが、広げることはできないのか。地域の人限定道路ということはできないのか。

→いなべ市にも大きな企業があり、一時期は従業員には、時間帯を指定して進入を遠慮いただいていたと思うが、拡幅等になると用地買収も伴い、地域限定道路については県も絡んでくる問題でもある。なかなか解決できていないが、今後も注視していこうと思う。

○診療所で働いており、高齢者の方と接する機会が多い。国民健康保険は今でも高いが、それが最大43%値上げされるともっと払えない。究極的には命の問題なので、議員の皆さんには想像力を働かせていただきたいと思う。

○公共交通の高齢者の交通手段の問題について、車を手放すかどうか皆さん悩んでおられて、安全とか事故とか考えると返納した方がいいのだろうが、返納してしまうと交通手段がなくなってしまうということですごく悩んでおられる。勤務する診療所の前に三重交通のバス停があるが、20分に1本だったのが、30分に1本になり、今は1時間に1本になっている。どんどん使いづらくなっている。買い物にバスを使えるということは社会参加ということだから、認知症予防にもつ

ながるし、地域経済の活性化にもなる。公費投入も含めて交通手段の確保をしていただきたい。

→運転免許の返納について、返納したくないという方もたくさんいるが、市は6月1日開始として、65歳以上で市税を滞納していない方を対象に運転経歴証明書の交付手数料について支援させていただこうということである。またコミュニティバスの回数券13枚綴りを提供する、または交通系のICカード3,000円分を支援するということである。コミュニティバスについては、多度の美鹿の方から駅の方に向けては一定程度本数が走っている。また新たに桑名と多度を結ぶようなコミュニティバスもできているが、こちら本数が少ない。今後、まちづくり協議会など各地で立ち上がってくるわけだが、それらとも協力しながら、できるだけたくさんの方に免許証を返納していただいて、公共交通を使っていただきたい。それには本数が少なくは不自由で仕方がないという意見ももっともと思うので、こういった要望があったことは市の当局にも伝えさせていただきたいと思う。

○平成30年度の市民満足度調査で公共交通の評判が悪かった、使い勝手が悪かったというが、前から悪かった。本気になってやっているのか。議会としてはどのように評価されているのか。いつも評価ワースト1位になっているのに、どのような手を打たれているのか。

デマンド乗合タクシーを長島で実験的に行い、どのように結果を分析されているのか。結果が良かったのであれば、なぜ多度でやってもらえないのか。

→公共交通、特にKバスについて多度、長島の方も桑名まで行けるようにルートが設定された。前回、市民満足度が低かったということで、前回よりは向上したけれどもまだまだ低い状況である。これからも皆様のご意見を市の方へあげていきたいと思う。

最近、桑部の方でのるーと桑名というオンデマンドバスが試行された。電話を事前にしていただくと迎えにきてくれる。アプリでもできるようになっていて好評だった。長島のデマンドタクシーは朝8時半までと限定されている。このオンデマンドバスは、AIを活用してルートを探索しているが、これも新しい一つのかたちかなと思っている。今後も注視していきたいと思っている。

○Kバスを多度から市役所や病院に直接行けるようにしてほしいと要望して、何年もかかって実現した。ところが誰も利用しなかった。そこは分析しないといけない。高齢者の方はAIとかよくわからないし、ややこしい時刻表がきてもよく見ないということで、例えばマイ時刻表を作ってあげるとか、何かいい方法はないのか。そういう（公共交通会議の）議論内容が伝わっているのか。

Kバスの停留所が薄くなって見えない。何度お願いしても変わらない。みっともない話である。ボランティアで張り替えているが、危険だからやめてくださいと中止になった。

ボランティアや定年退職組が高齢者の方を買い物に連れて行くなど各地で事例があると思うが、桑名市にやろうと言って

も危ない、認可はどうするのか、タクシー会社を圧迫するのかということでダメと言われている。そういう検討もしていただきたい。

→ボランティア運転手について、多度町内においては少し遅れているが、まちづくり協議会、そのまちづくりの一環として、そういうのができればなど思っている。少子高齢化の時代、地域ぐるみで解決していこうということで、ボランティア運転手については、事故など有事の際のことを考えてのことだと思うが、協議会として保険も入れてやっていけたらいいのかなど思っている。

【その他】

○市議会のホームページについては、全員協議会についての情報がアップされていない。本会議と委員会は見れるが、全員協議会は見れない。

→全員協議会の資料については、議会事務局の方にお伝えしたいと思う。

○小中一貫校について、当初からあまりにも話が違っていることが腑に落ちない。行政がやる限りであれば、事業内容を検討していかねればならない。そもそも多度地区の小中一貫校は、子供の数が少ないから立ち上がったわけではない。桑名市の教育のあり方を考える委員会で、小中一貫教育はいいものだと、それを効果的にしようと思うと小学校と中学校が同じ場所にあるのがいいということで進めましょう、ただ、多度はこれから子供の数が減るから、多度からやりましょうというだけであって、子供の数合わせのために始まったわけではないのに、今では公然と子供の数が減っているから、多度中小学校に子供を集めますと。従来の目的とは異なってるのではないか。

→端的に言うと小中一貫校についてはかわら版で見ているが、その辺は当局から聞きたいと思う。

○ふるさと文学館について、以前は各小学校に本を持って行っていた。ところがいつの間にか逆になってしまい、学校から借りにきてくださいとなった。教職員の方は忙しいのに。今まで多度は多度で住民に対するサービスをやっていたのが、市になったらやらない。なぜ桑名市に合わせるのか、多度町は多度町の良さを持っているので、そこを活かしてほしい。

また、最近、山をいたるところで削っているのが、肱江川が氾濫しないか不安である。

→昔は幼稚園、小学校に毎月、各クラスごとに本を持って行っていた。合併してしばらく経ってから、そのようなサービスがなくなった。そのような意見があったということをお伝えさせていただきたいと思う。

川の氾濫について、国交省管理、県管理河川についても、浚渫などについて、市からも管理者の方に伝えさせていただいているが、まだされていない状況もある。そのことについてもご意見があった旨、報告させていただきたいと思う。

○学校の整備について、プールはどうなっているのか。

あなたの声について、回答は一週間から10日くらいでくるが、去年、質問を出して1ヶ月以上返答がないことがあった。どうなっているのかと問い合わせると、その後3日ほどで回答がきた。対応の仕方について不満がある。回答がこないこともあった。

→市の方針としては、小中一貫校のプールについて、学校には建設せずに総合運動公園に作って送迎するというのである。市内各学校が老朽化する中、コストの面でプールを統合していきたいと考えていると聞いている。

あなたの声については、今後気をつけるようにと伝えさせていただきたいと思う。

○ふるさと多度文学館について、昔は館の前のプランターに花を植えたりしていた。ところが誰もしないようになって、プランターは自分が管理していた。自分が体調を崩して管理することができなくなったら、プランターが草まるけになっていた。どうなっているのか。

→草取りもさせていただいていたが、その時その時の館の上司の方針もあったかもしれない。ご指摘のことについてはお伝えさせていただきたいと思う。

○多度山の開発について、市役所に行って聞いてみても民間がやっていることでわからないと。市民が不安に思うことは説明会や資料などで、不安を和らげることをしてほしい。

○まちづくり協議会を全市に作るといっていたが進んでいないようなので、きちんとした指導やアドバイスをしていただきたいと思う。

○多度の小中一貫校については問題が多いのに、その問題を放置したまま無理矢理に進められているということが問題だと思っている。あまり議会で指摘もされずにこの巨大な事業を手放しで賛成されているという非常に由々しき問題について各議員、どう考えているのか。

→この場では、個々の意見を述べられないので、申し訳ない。